

一般国道1号

くわ な と う ぶ か く ふ く
桑名東部拡幅

(道路事業)

説明資料

平成29年5月16日

中部地方整備局
北勢国道事務所

目 次

1. 一般国道1号 くわな とうぶ かくふく 桑名東部拡幅の事業概要	
(1)事業目的	P. 1
(2)計画概要	P. 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	
①災害に強い道路機能の確保	P. 3
②交通渋滞の緩和	P. 4
③物流効率化の支援	P. 5
④ストック効果事例：観光振興の支援	P. 6
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P. 7
4. 事業費の見直しについて	P. 9
5. 費用対効果	
3便益による事業の投資効果	P. 11
6. 代替案立案等の可能性の視点	P. 12
7. 県・政令市への意見聴取結果	P. 12
8. 対応方針(原案)	P. 12

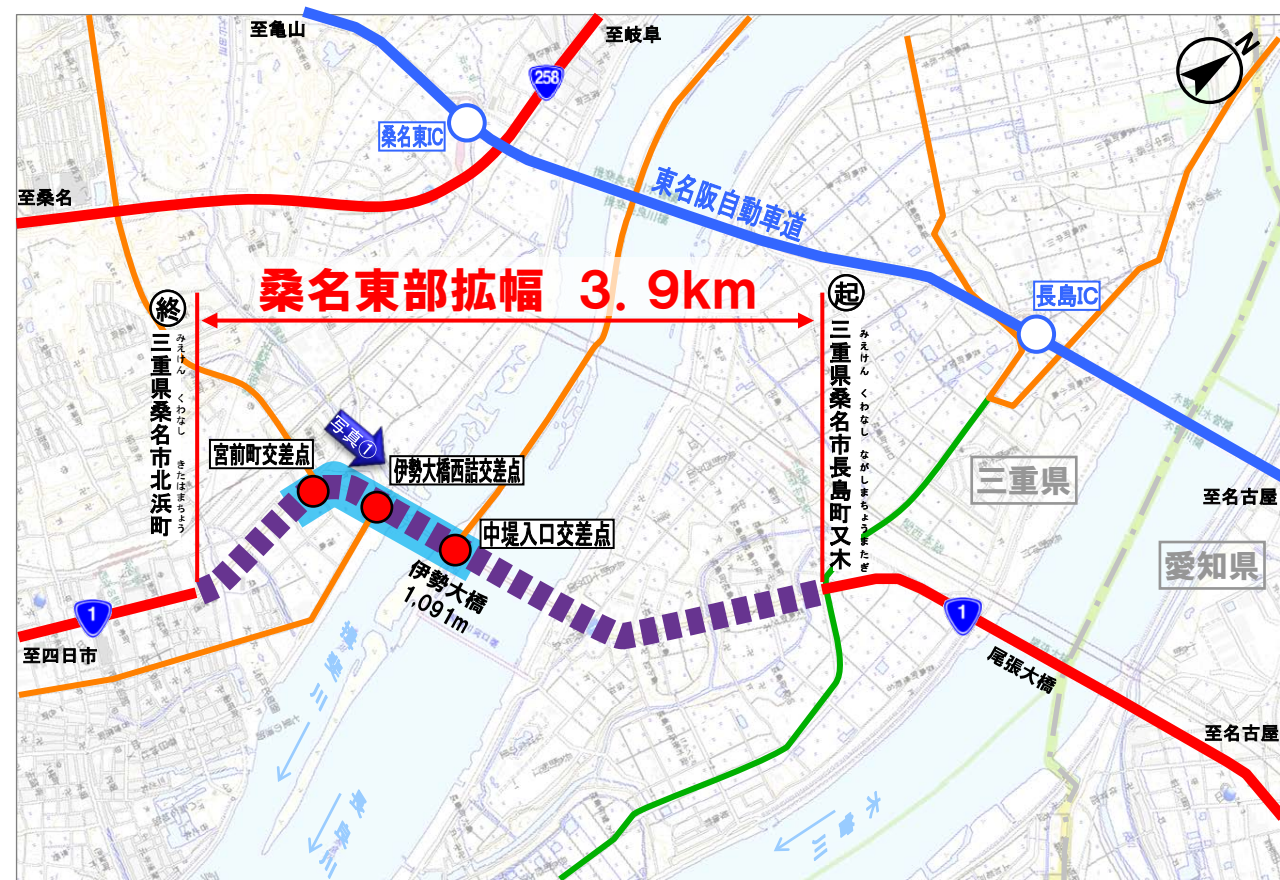
1. 一般国道1号 桑名東部拡幅の事業概要

(1) 事業目的

一般国道1号桑名東部拡幅は、三重県桑名市長島町又木を起点とし、同市北浜町に至る延長約3.9kmの道路拡幅事業であり、災害に強い道路機能の確保、交通渋滞の緩和等を目的に計画された道路です。

桑名東部拡幅区間には、主要渋滞箇所(3箇所)や20t超過車両通行制限区間の存在等の課題があり、本事業は課題解決のために拡幅整備等を行うことで、災害に強い道路機能の確保、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援等の効果を見込んでいます。

桑 名 東 部 拡 幅 の 全 体 位 置 図



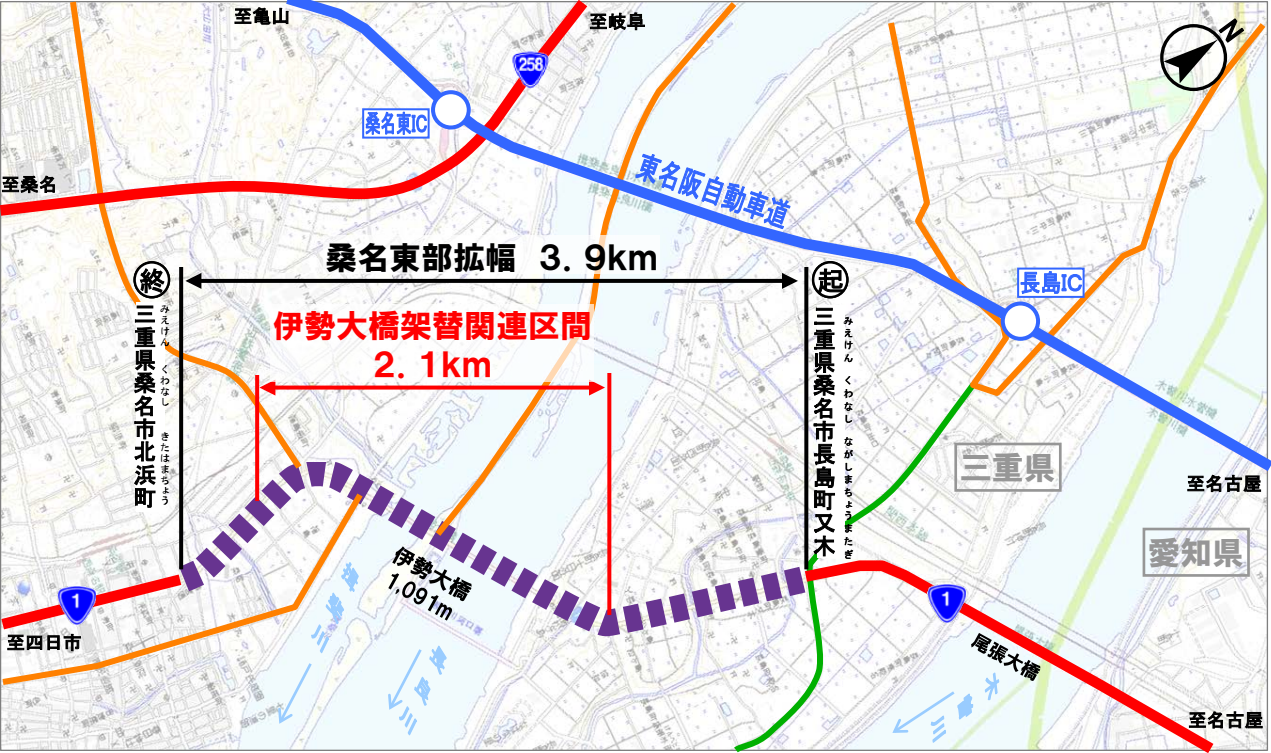
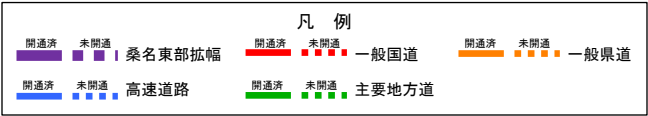
凡 例			
開通済	未開通	桑名東部拡幅	主要渋滞箇所
開通済	未開通		主要渋滞区間
開通済	未開通	高速道路	
開通済	未開通	一般国道	
開通済	未開通	主要地方道	
		一般県道	

1. 一般国道1号 桑名東部拡幅の事業概要

(2) 計画概要

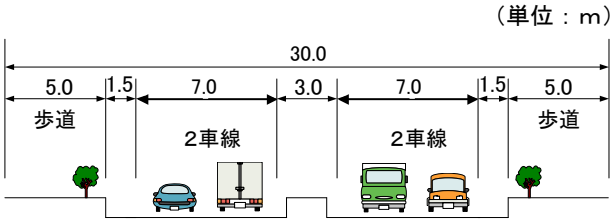
桑名東部拡幅は、昭和51年度に事業化し、現在、伊勢大橋架替関連区間の工事を進めています。

事業名	一般国道1号 桑名東部拡幅
道路規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車線数	完成4車線
都市計画決定	昭和60年度
事業化	昭和51年度
用地着手年度	昭和63年度
工事着手年度	平成18年度
延長	3.9km
前回の再評価	平成26年度(指摘事項なし:継続)
全体事業費	513億円 (23億円増額)

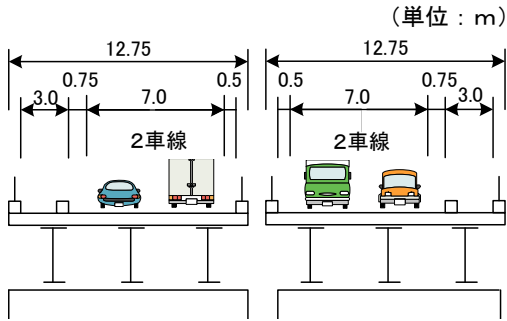


標 準 横 断 図

土工部



橋梁部



2. 評価の視点

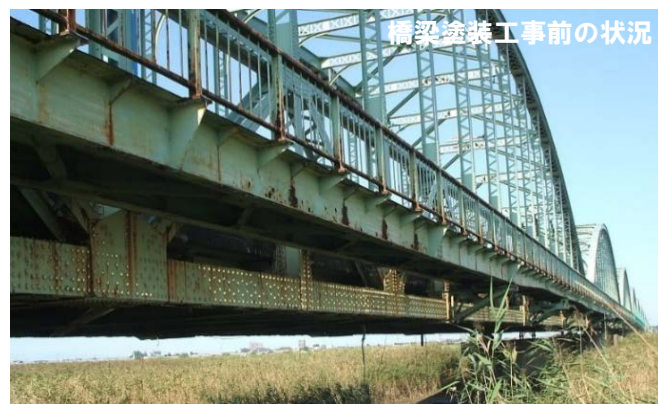
(1)事業の必要性等に関する視点

① 災害に強い道路機能の確保

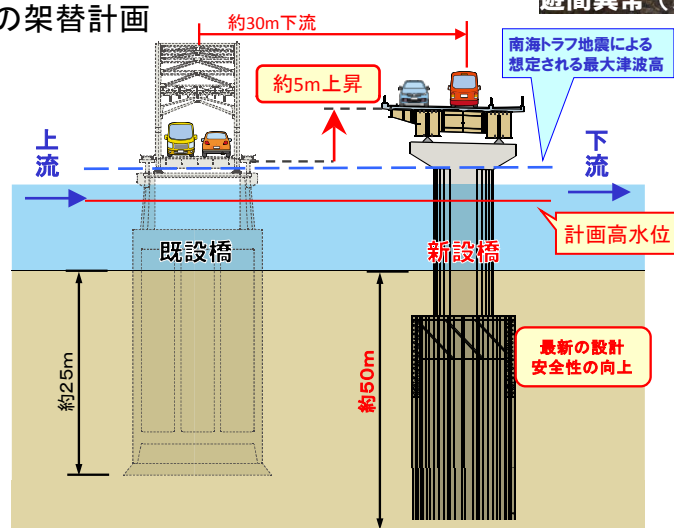
■伊勢大橋は昭和9年度に竣工しており、雨水・塩害の影響による老朽化が進行しています。また、現在の橋は、南海トラフの巨大地震により発生が想定される津波に対して脆弱な状況にあります。

■伊勢大橋架け替え整備により、災害時の安心・安全と、防災拠点等を連絡する緊急輸送道路が確保されます。

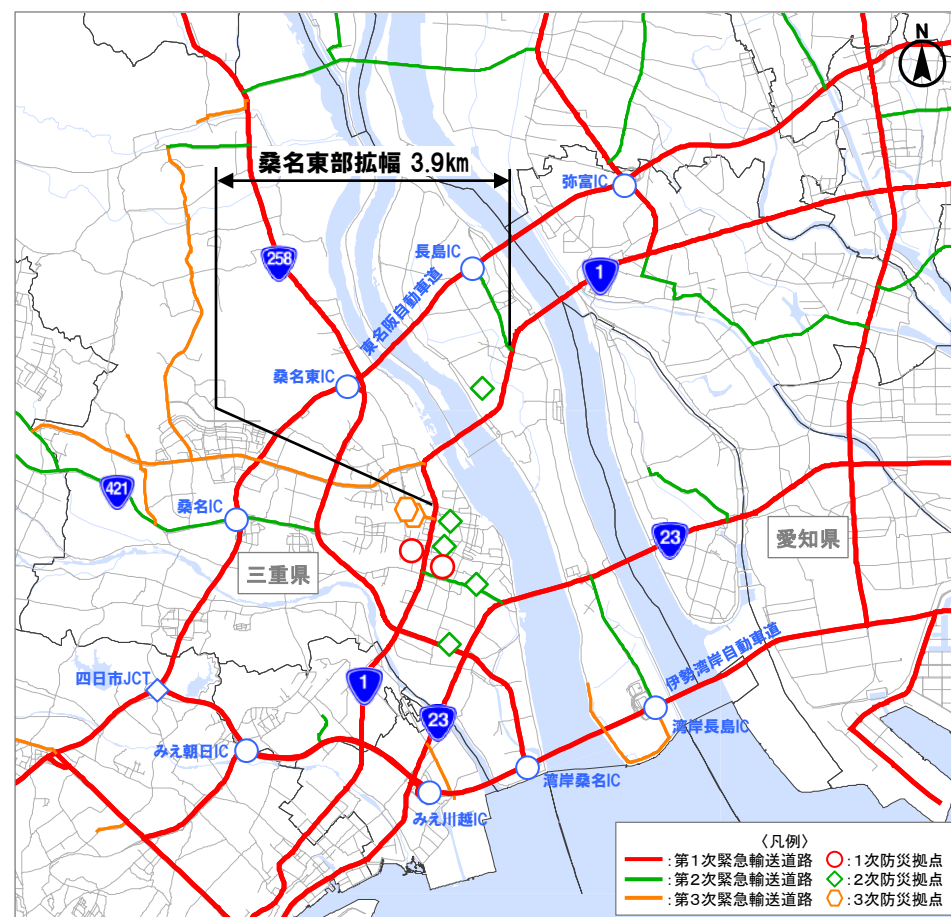
■伊勢大橋の老朽化



■伊勢大橋の架替計画



■緊急輸送道路ネットワーク



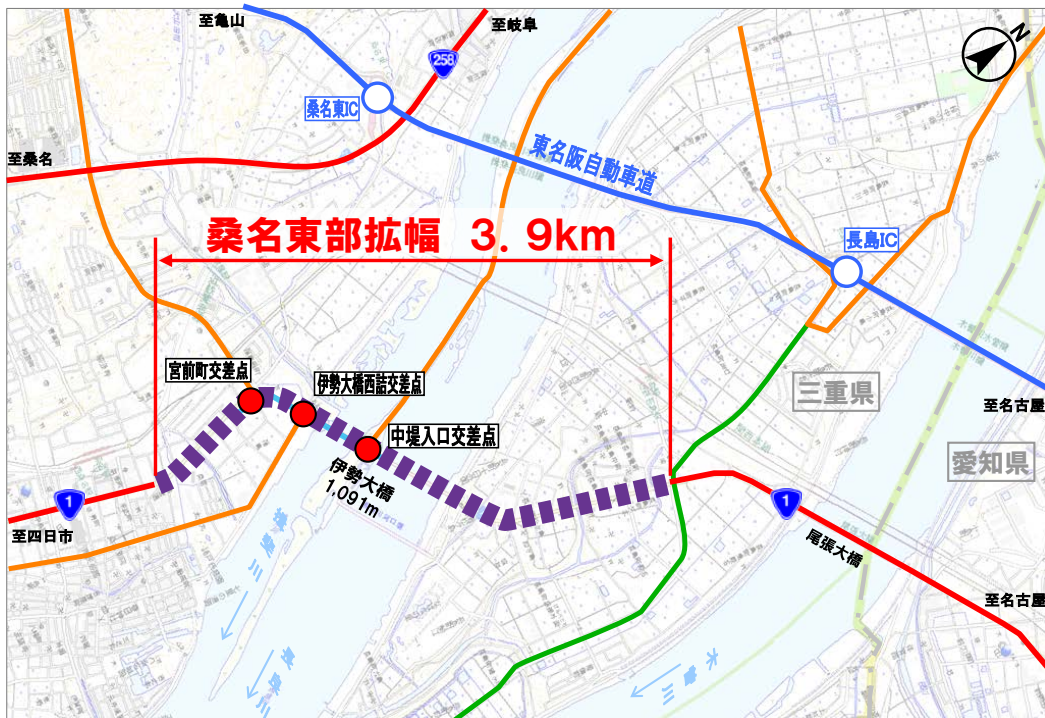
2. 評価の視点

(1) 事業の必要性等に関する視点

② 交通渋滞の緩和

- 桑名東部拡幅区間におけるkmあたりの渋滞損失時間は依然として高く、三重県内の国道平均の約3.4倍に相当します。
- 平成25年1月には、桑名東部拡幅区間における3交差点が主要渋滞箇所を選定されています。
- 本事業の整備により、旅行速度が向上することで渋滞損失時間が大幅に低下し、交通混雑緩和に寄与します。

■ 桑名東部拡幅区間における主要渋滞箇所・区間



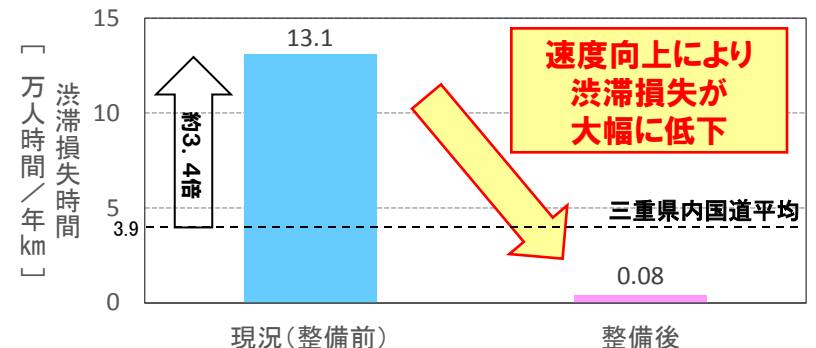
凡 例		
開通済	未開通	桑名東部拡幅
開通済	未開通	高速道路
開通済	未開通	一般国道
開通済	未開通	主要地方道
開通済	未開通	一般県道
		● 主要渋滞箇所
		■ 主要渋滞区間

出典:「地域の主要渋滞箇所」
(三重県道路交通渋滞対策推進協議会)

■ 伊勢大橋西詰交差点の混雑状況



■ 桑名東部拡幅区間の渋滞損失時間削減効果



※渋滞損失時間の算定方法

現 況：渋滞損失時間 (H22データ)

整備後：交通量推計の整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を現況値に乗じて算出
区 間：国道1号現道(押付交差点～桑名市北浜町)

2. 評価の視点

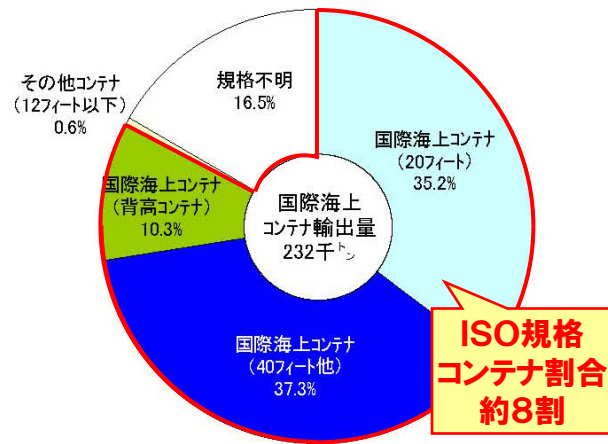
(1) 事業の必要性等に関する視点

③ 物流効率化の支援

- 国際海上コンテナではISO規格コンテナ利用が増加しており、全国の国際海上コンテナ輸出量では約8割に達しています。
- 国際拠点港湾（四日市港・名古屋港）における外貿コンテナ貨物取扱量は増加傾向にありますが、本事業区間ではISO規格コンテナ（総重量20t超過車両）の輸送が制限されています。
- 伊勢大橋架け替え整備により、物流を支える幹線道路網が強化され、物流効率化を支援します。

■ 国際海上コンテナ輸出量（全国）

〔国際海上コンテナ規格別輸出量割合〕



出典：物流センサス-3日間調査結果（H22年）

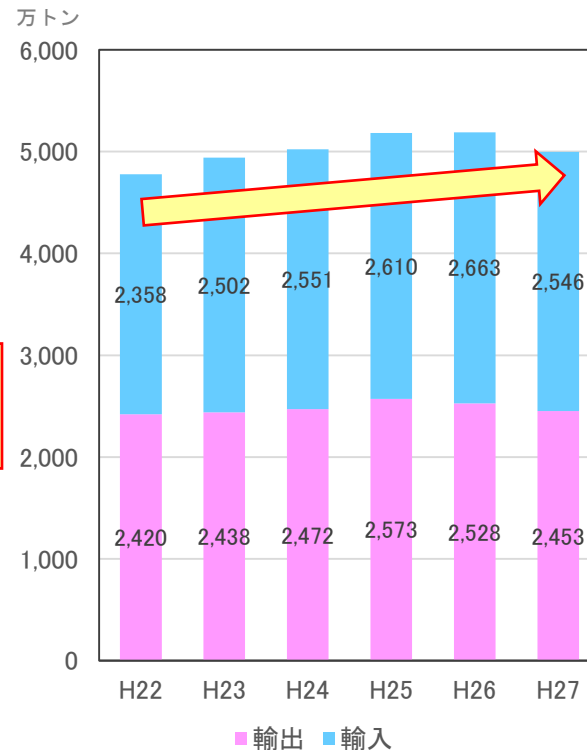
〔ISO規格海上コンテナ積載トレーラー〕



出典：国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン

■ 外貿コンテナ取扱量の推移

（国際拠点港湾：四日市港＋名古屋港）



出典：四日市港統計年報、名古屋港統計年報

■ ISO規格コンテナ（総重量20t超過車両）の走行規制区間



2. 評価の視点

(1) 事業の必要性等に関する視点

④ ストック効果事例: 観光振興の支援

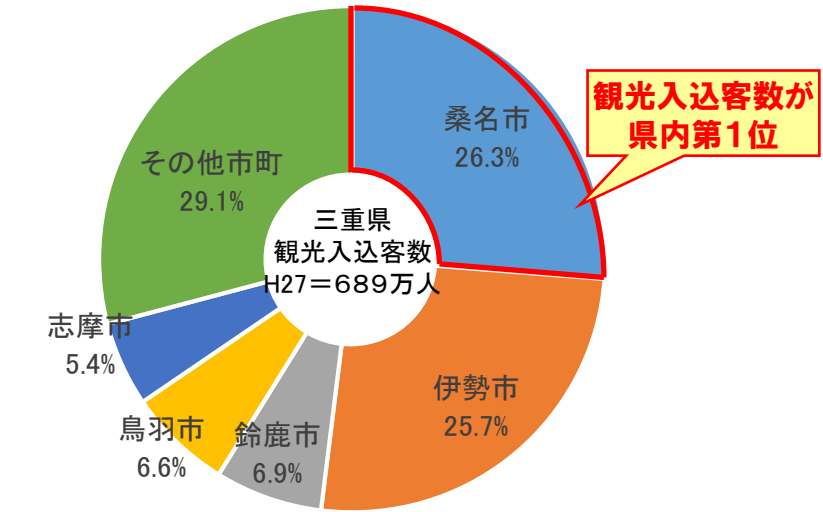
■ 桑名市は、観光入込客数が三重県内第1位で、集客力の高い観光施設や歴史・文化関連の観光資源が点在しています。

■ 本事業の整備により、揖斐・長良川渡河断面の円滑性を確保し、観光周遊性の向上を支援します。

■ 桑名市の主要な観光資源



■ 三重県内の市町別観光入込客数(H27)



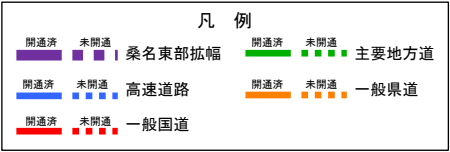
■ 三重県内の観光地別観光入込客数(H27)

順位	観光地	市町	H27観光入込客数 (万人)
1	ナガシマリゾート	桑名市	1,515
2	伊勢神宮【内宮・外宮】	伊勢市	838
3	おかげ横丁	伊勢市	524
4	鈴鹿サーキット	鈴鹿市	208
5	鳥羽市旅館街	鳥羽市	188
6	湯の山温泉	菰野町	179
7	二見興玉神社	伊勢市	172
8	椿大神社	鈴鹿市	145
9	多度大社	桑名市	144
10	志摩スペイン村	志摩市	128

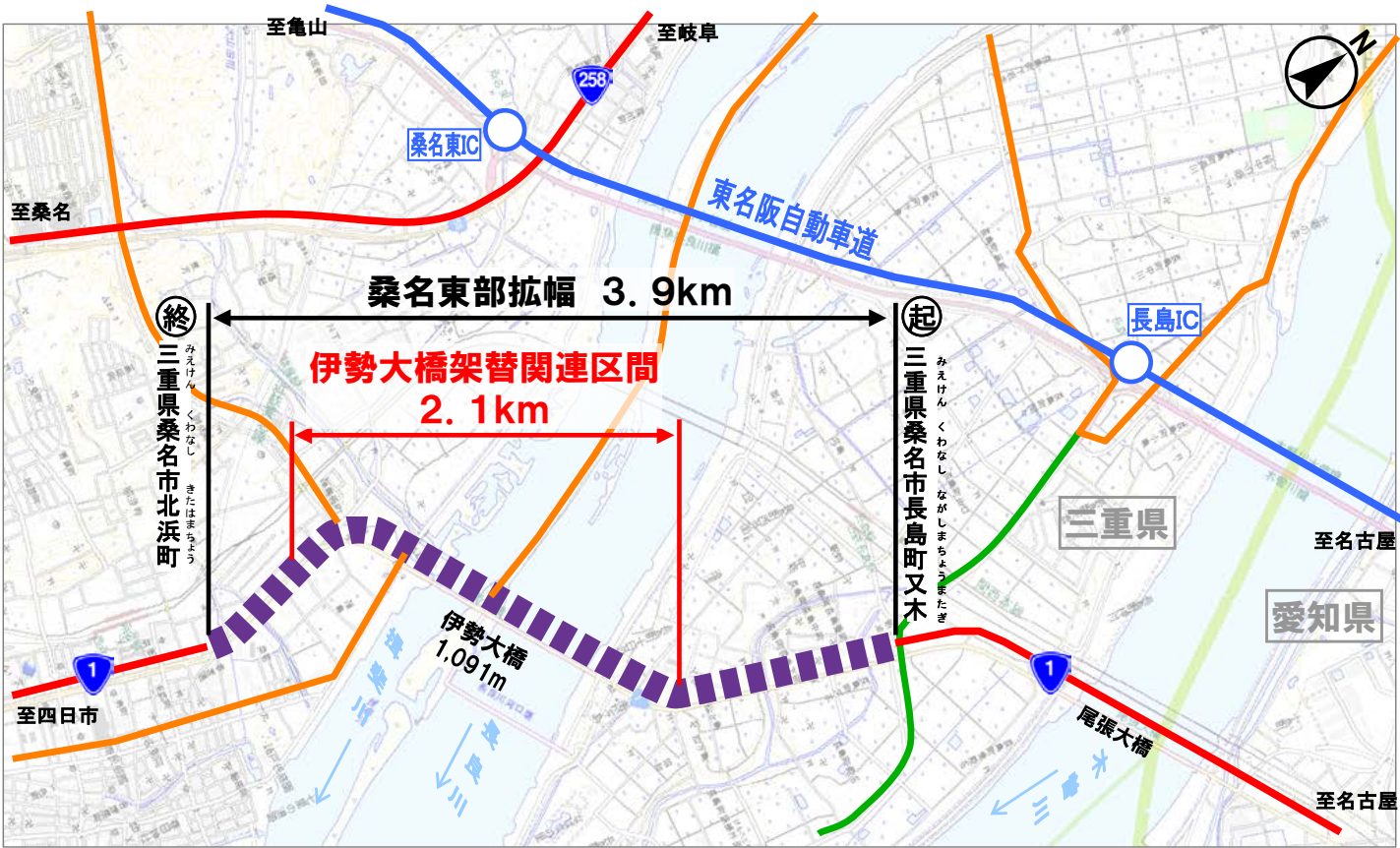
3. 事業の進捗及び見込みの視点

事業の進捗の見込み状況

■伊勢大橋架替関連区間(延長2.1km)については、早期開通に向けて工事を推進します。

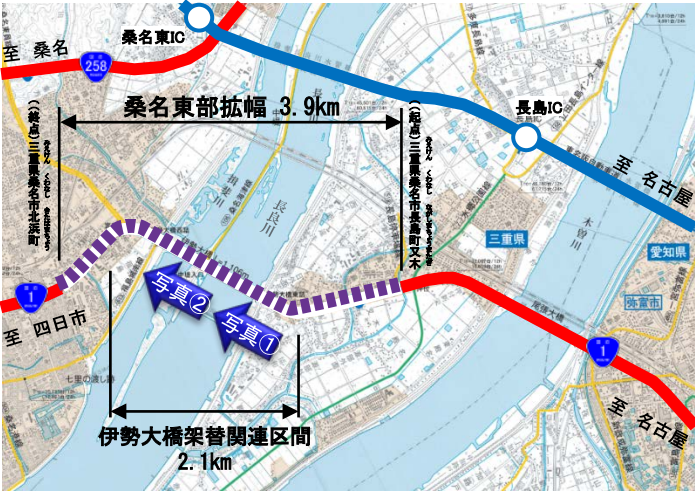


区間	桑名東部拡幅
備考	【用地取得率】 61% ⇒ 61% (平成25年度末 ⇒ 平成28年度末) 【事業進捗率】 19% ⇒ 37% (平成25年度末 ⇒ 平成28年度末)



3. 事業の進捗及び見込みの視点

事業進捗状況



- 凡例
- : 桑名東部拡幅
 - : 高速道路
 - : 一般国道

区間	事業の進捗状況
伊勢大橋架替関連区間	当該区間において、改良工事及び橋梁下部工事を推進中

[工事進捗状況:写真①] 長良川下部工事の状況 起点側より終点側を望む



[工事進捗状況:写真②] 揖斐川下部工事の状況 起点側より終点側を望む



4. 事業費の見直しについて

■ 事業費増加の要因

・河川内の下部工施工方法の変更		23億円増
-----------------	-------	-------

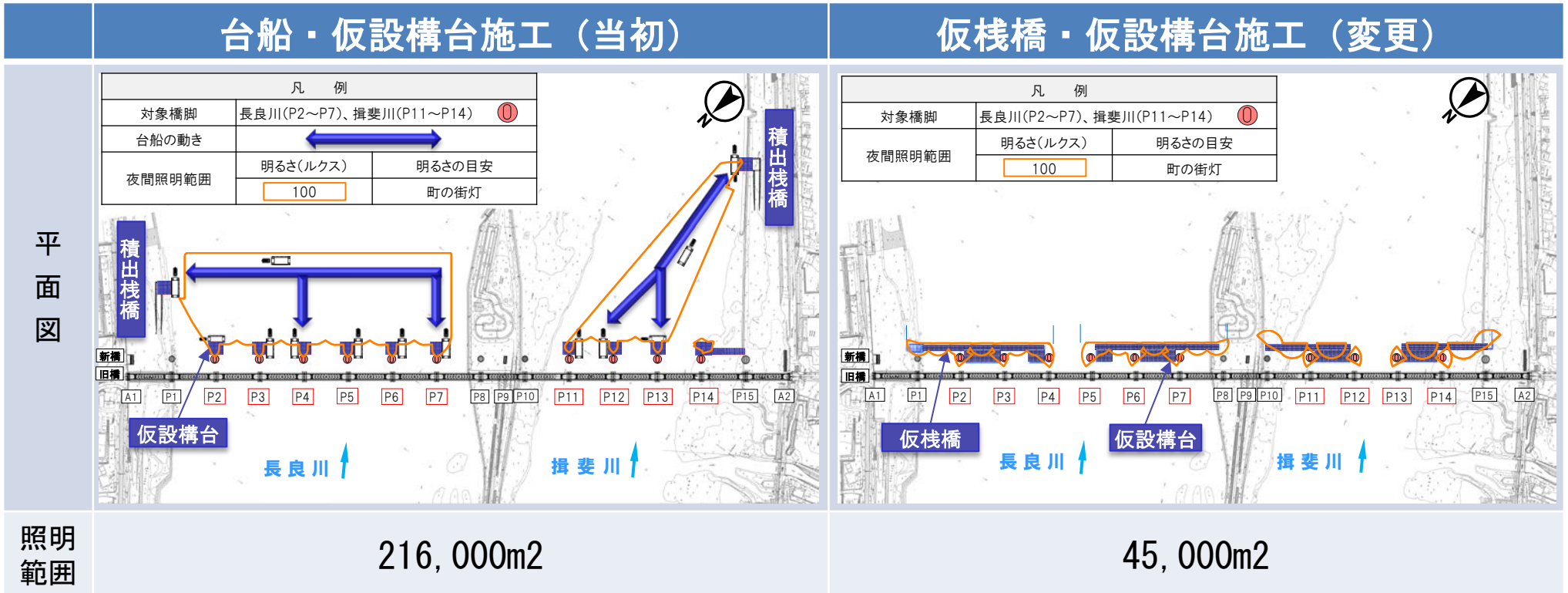
事業費増額の要因	増額
①河川内の下部工施工方法の変更 ・ 当該事業の下部工は河川内に位置するものが多く、非出水期（10月～5月）に工事を完了させる必要があることから、昼間及び夜間での施工が伴う事業 ・ 当初、下部工施工方法として、経済的な台船・仮設構台による施工を採用 ・ 施工に先立ち実施した地元関係者との協議、有識者を含めた議論を踏まえ、台船・仮設構台による夜間照明が魚類（ニホンウナギ、サツキマス、シラウオ等）の生息環境に及ぼす影響を低減するため、同工法を仮栈橋・仮設構台による施工に変更	23億円

4. 事業費の見直しについて

■事業費増加の要因

①河川内の下部工施工方法の変更 23億円

- 当該事業の下部工は河川内に位置するものが多く、非出水期（10月～5月）に工事を完了させる必要があることから昼間及び夜間での施工が伴う事業
- 当初、下部工施工方法として、経済的な台船・仮設構台による施工を採用
- 施工に先立ち実施した地元関係者との協議、有識者を含めた議論を踏まえ、台船・仮設構台による夜間照明が魚類（ニホンウナギ、サツキマス、シラウオ等）の生息環境に及ぼす影響を低減するため、同工法を仮栈橋・仮設構台による施工に変更



5. 費用対効果

3便益による事業の投資効果

○費用便益分析(B/C)について

◇B／C(事業全体) =
$$\frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故削減便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}}$$

【事業全体】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故削減	計	事業費	維持管理費	計		
一般国道1号 くわなとうぶかくふく 桑名東部拡幅	590	68	1.0	659	524	11	535	1.2	1.2

【残事業】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故削減	計	事業費	維持管理費	計		
一般国道1号 くわなとうぶかくふく 桑名東部拡幅	590	68	1.0	659	238	11	249	2.6	1.7

※1 平成22年8月に公表した「将来交通需要推計の改善について」にて検討することになっていた推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表に基づきB／Cを算出。

※2 残事業のB／C算出にあたっては、未整備区間において、事業を継続した場合に追加的に必要となる事業費の合計と、追加的に発生する便益を対象として算出した。

【前回再評価時からの変更点】

1. 費用便益分析の基準年次を変更(H23→H29) 2. 事業費の増加による変更

6. 代替案立案等の可能性の視点

くわな どうぶかくふく

- 一般国道1号桑名東部拡幅は、地形、土地利用状況、主要幹線道路との接続などを勘案した路線計画となっており、交通渋滞の緩和、物流効率化や災害に強い道路機能の確保など、期待される効果が大きい事業で、都市計画決定以降、地域の課題に大きな変化は無いことから、現計画が最も最適であると考えます。

7. 県・政令市への意見聴取結果

■三重県の意見

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

本事業は、老朽化著しい伊勢大橋の架け替えとあわせて、国道1号の交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保及び物流効率化や観光振興の支援を図るための重要な4車線化事業です。今後も引き続き、本件と十分な調整をしていただき、早期4車線化に向けた事業の推進をお願いいたします。

8. 対応方針（原案）

くわな どうぶかくふく

- 一般国道1号桑名東部拡幅の事業を継続する。